

指定管理業務モニタリング実績評価シート（令和4年度）

1 施設概要	
施設名	高富児童館
所在地	岐阜県山県市高富1276番地2
指定管理者の名称	特定非営利活動法人 かばさんファミリー
指定期間等	令和2年4月1日～令和7年3月31日 5年間 3年目
施設の設置目的	児童福祉法の規定に基づく本市の児童厚生施設として、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすること。 (子育て支援センター：子育てに関する相談、支援及び研修を実施することにより、安心して子どもを産み健やかに育てることができる環境づくりの実現を図ること)
業務内容	1. 施設及び設備の維持管理に関すること。 2. 使用の許可及び制限に関すること。 3. 市長が施設ごとに定める施設の事業に関すること。 ・児童館事業 ・子育て支援センター事業（地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業、ファミリー・サポート・センター事業ほか） 4. その他施設の管理上又は設置の目的を達成するため市長が必要と認めるもの。
施設概要 (施設内容)	建築年：昭和56年8月 敷地：2,378.54㎡ 建物：鉄筋コンクリート造 2階建 1,109㎡ (1F572.04㎡ 2F537.11㎡) 主な施設の状況： 1F（遊戯室、図書室、休養室、事務室、放課後児童クラブ室） 2F（乳幼児遊戯室×2、授乳室、集会室、会議室×2、準備室）
施設所管課の名称	子育て支援課

2 管理実績					
項目(単位)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数合計(人)	25,205	20,875	13,824	16,061	17,016
利用料金合計(円)	-	-	-	-	-
利用率(%)	100	100	100	100	100
()					
()					
()					

主な成果 (自主事業含む)	使用(利用)料収入	目標	-	→	実績	-
	稼働率	目標	100%	→	実績	100%
	利用者数	目標	16,500人	→	実績	17,016人
	【主な自主事業実施による成果】					
学童行事：参加人数101名 将棋クラブ：参加人数314名						
地域子育て支援拠点事業：6,596人(0歳～3歳までの親子が交流するひろば)						

3 評価		
指標	評価	コメント
利用者の公平性の確保	B	山県市児童厚生施設設置及び管理に関する条例ほか関係法令及び管理に関する協定書の遵守により公平性が確保されている。
事業・業務の履行状況	B	事業・業務ともに適正に履行されている。
利用者満足度の向上度	B	サービス、職員の対応に関する満足度が高く、問い合わせ等に対し適切に対応している。
財務状況の適正性	B	適正と認められる。

評価の目安

【利用者の公平性の確保】【事業・業務の履行状況】【利用者満足度の向上度】の評価基準

※モニタリングチェックシート(様式1、2)における評価を基に次の基準により評価する。

- A(優): 高く評価できる。
- B(良): 実施している。適切である。
- C(可): 概ね実施している。一部改善を期待する。
- D(不可): 実施していない。改善を要する。

【財務状況の適正性】の評価基準

※モニタリングチェックシート(様式3)における内容について、次の基準により評価する。

- A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選定委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選定委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - C: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選定委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選定委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」もしくは「重大な懸念がある」とされた場合
- ※ 客観的評価として以上の基準によりA・B・C・Dを判定し、選定委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

4 指定管理者候補者選定委員会による評価

講 評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廊下等の掲示物も貼り替えるなど常に利用者の目を引くよう工夫されている。親が読む事で育児への啓発や市内の様子も周知でき大変良い。 ・ 子育て関係機関・団体との積極的な情報交換・共有化に努めているものと評価できる。今後も継続発展していくことを期す。 ・ 利用者からの要望を汲みあげる体制があるので、できる限り対応できるよう努力されたい。 ・ 公平なサービスの観点では、利用している者、利用していない者の両方から意見を聞く必要がある。 ・ ランドセル来館の体制が用意されたので、認知度向上により利用者が増えることを期待する。 ・ いろいろな関係機関との話し合いの場を設け、現状把握に努めていることは良い。 ・ 複数の事業を受託しているが、相互に関連性があると思われるので、事業連携をするなどして有意義な活動とされたい。 ・ 西側外階段は、非常用の避難階段であるが、県事務所当時のものであり、幼児や妊婦が利用するには、構造的に危険であるので、改造を考えていただきたい。
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------